

お客様各位

---

## カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

---

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

## MESC TECHNICAL NEWS

No. M7700-124-9911

## 7900シリーズ 32ビット演算命令実行時の注意事項

## 1. 対象品種

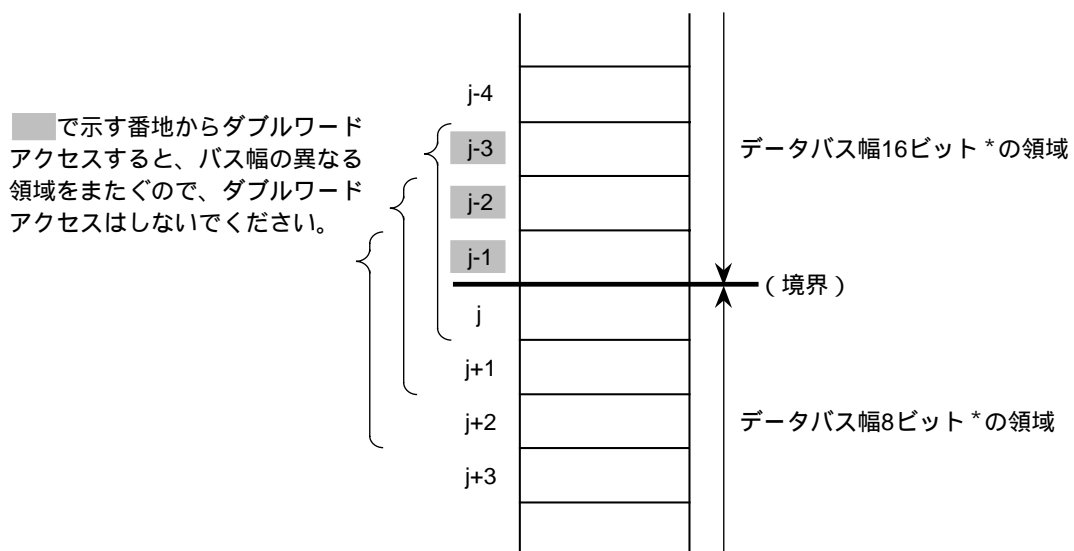
7900シリーズ全品種

## 2. 該当命令

ADCD, ADDD, ADDMD, ANDMD, CMPD, CMPMD, EORMD, LDAD, ORAMD,  
SBCD, STAD, SUBD, SUBMD

## 3. 注意事項

上記に示した32ビット演算命令を使用してメモリをアクセスするときは、データバス幅が異なる領域をまたいでアクセスしないでください。  
すなわち、データバス幅16ビットの領域（内部領域を含む）と、データバス幅8ビットの領域が連続して配置されている時、データバス幅が異なる領域の境界の前3バイトからはダブルワード（32ビット）アクセスをしないでください。



\* : データバス幅8ビットの領域が下位番地で、  
データバス幅16ビットの領域が上位番地の場合も同様

## 4. 現象

データバス幅が異なる領域をまたいでダブルワードアクセスすると、次のような現象が発生することがあります。

- (1) 境界前後のアクセスが不正アクセスとなる
- (2) CPUが暴走する